

平成 30 年度自己評価結果公表シート

大開幼稚園

1.本園の教育目標

- ☆ 健康で安全な暮らしのできる子ども
- ☆ 自分のことは自分でできる子ども
- ☆ 友達と仲良くできる子ども
- ☆ 自分から進んで取り組み、工夫しながら遊べる子ども
- ☆ 心情豊かな子ども

2.本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画をもとに設定した学校評価の具体的な目標や計画

- ・安全対策・安全管理の見直しを図り、安全な生活が身につくような指導を工夫する。
- ・身体を動かして遊ぶことを楽しみ、心身ともにたくましい子どもを育てる。

3.評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	達成及び取り組み状況
(1) 安全管理体制を整え、安全教育の意識を高め、子どもの安全を確保できたか。	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者証や連絡メールの導入により、日々の生活や緊急時の安全に役立った。特に今年度は自然災害が多く、連絡メールにより保護者への連絡が正しく、早くできるようになった。 ・ヘルメットを購入して、避難訓練の際に実際に子どもたちが使うことを繰り返したので、自分たちで着用できるようになった。
(2) 子どもが主体的に活動し、心身ともに成長できる環境を工夫することができたか。	<ul style="list-style-type: none"> ・年長児は、生活や遊びの中で子どもたち自身にどうしたらいいのかを考えて活動をするように働きかけてきたので、子どもたちだけで工夫し、活動できるようになった。 ・砂場の遊具のカゴをカートから取り出し並べたことで、遊びやすく、片づけやすくなった。 ・一輪車のパーを設置したり、新しくストライダーを導入したりすることで運動遊びのレパートリーが広がった。また、年長児の遊びの影響を受け、年中少児も一輪車や縄・フープなどに興味をもち取り組むようになった。

4.学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結 果	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時、緊急時の判断や対応がまだまだできていないので、子どもの安全を守るため、職員間の連携伝達を密にしていく必要がある。 ・子どもの怪我が多いことも課題である。。園庭でも保育室でも子どもの動線を考え、子どもが楽しめる環境を工夫することで、子どもも保育者も動きやすく、安全になるのではないかとと思う。
-----	---

5.今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
園庭の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・雨のたびに、園庭の砂が流出しているので、表面の砂を取り除き、土を入れて固め、砂場の周りのコンクリートの角なども埋めて、遊びやすく安全にする。 ・三角屋根に床を作り、安全に遊べるようにする。
遊びやすい環境を整え、遊びの見直しをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・保育室、園庭の整理・整頓に努める。 ・季節や子どもの興味にあった遊びを見直す。

6.学校関係者の評価

身体を存分に動かして、主体的にのびのびと遊ぶ時間を多く保証していることや、異年齢のかかわりを多く持つことで、年長児は自分たちで考えて行動すること、年中少児はその影響を受け興味を広げて遊ぶことができるようになっていることを喜んでもらっている。

また、今年度は、保護者証や連絡メールの導入により、日々の生活や緊急時の安全確保に役立った。また、防災用のヘルメットを購入し、避難訓練の際に使用し、子どもたちが着脱することができるようになったことにも安心してもらえた。

7 財務状況

公認会計士による監査にて、適正に運営されていると認められている。